

第5章

新聞記事の探し方

新聞は、過去から現在までの多様な時事的情報を記録しているメディアです。毎日発行している一般紙以外にも、ウェブやCD-ROMで利用できる新聞があります。

それらを活用して、必要とする新聞記事を探し出すには、どのようにすればよいでしょうか。

5.1 新聞資料の特徴

最近話題の事件、あるいは過去の世相などを知ろうとした場合、新聞は有効な情報源となります。たとえば、ある事実が起こったかどうかという事実の確認や、特定の人物に関係した情報を集める場合に活用することができます。また、あるテーマに関する情報を広く集め、そこから新たな問題提起をする場合などにも活用することができます。新聞は、過去から現在にかけての多様な社会情報を記録しているメディアなのです。

新聞を発行している各新聞社には、それぞれ個性があります。マスコミュニケーション・メディアである新聞は、その公共的情報供給者としての面から、その記事も中立性を保っているように思われがちです。しかし、同じひとつの事件であっても、発行している新聞社あるいは記者によって、問題への取り組み姿勢、記事のまとめ方・見解などにより、記事の内容が異なってくるものです。同じ対象に関する記事であっても、複数の新聞を読み比べてみることにより、さまざまな見方・考え方を知ることができます。

さて、新聞をイメージしてすぐに思いつくのは、報道記事を掲載し毎日刊行される一般紙だと思います。しかし、新聞には他にも様々な発行形態や内容、収録メディアのものがあり、それぞれ特徴があります。新聞記事を探そうとする場合は、まずその新聞メディアの特徴を知っておくことが大切です。それにより、効率的な探索が可能となります。まずここでは、それぞれの新聞の種類から見てみましょう。



5.1.1 新聞の種類

(1) 発行形態による分け方

日本全国に販売拠点を持ち全地域の読者を対象とする全国紙と、特定地域の読者を対象とした地方紙の、2種類の発行形態があります。

- 全国紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞など
- 地方紙 : 河北新報、北海道新聞 など

(2) 内容による分け方

全分野の内容を偏りなく掲載している一般紙と、それぞれの分野に特化した紙面で構成している専門紙の、2種類の内容に分けられます。

- 一般紙 : 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、河北新報 など
- 専門紙 : 日本経済新聞、日刊工業新聞 など

(3) 収録メディアによる分け方

新聞本紙は紙質が悪いため保存に向いておらず、また、記事検索用の索引もありません。そのため新聞は、さまざまなメディアに変換して提供されています。

メディアの種類	特徴
本紙	速報性が優先。メディアの保存や記事検索とも不向き。
縮刷版	本紙を縮小して月単位で印刷した冊子体。記事索引がついているものもある。
マイクロフィルム	本紙を縮小撮影したもの。保存によいが、閲覧には専用機器が必要。検索にはほかのツールが必要。
CD-ROM	記事検索に優れる。ただし、写真や広告など本紙全面は収録していないことが多い。
オンラインデータベース	複数年や複数紙の同時記事検索が可能なものもある。
無料ウェブサイト	もっとも速報性が高いが、本紙紙面とは別記事である。過去の記事を参照できない場合も多い。

図表 5-1 メディアの特徴

5.1.2 記事内容の種類

新聞は、毎日の報道記事のほかにも、社説、地方面、文化欄、相場欄、コラム、インタビュー、漫画、広告などさまざまな内容を掲載しています。しかし、本紙以外のメディアでは、それらを収録していない場合もあります。それぞれのメディアを利用する際には、説明書や凡例をよく読んで確認してください。

5.1.3 目的別による使い分け

新聞を利用しようとする際は、その利用目的ごとに、これまで述べた種類のものを使い分けることが大切です。

目的例	利用ツール例
今月の最新記事を探すには？	本紙、オンラインデータベースなどを利用。最近の記事の確認には、ウェブサイトの検索も有用。
戦前の古い記事を探すには？	最近は古い資料も電子化してきているので、まず使い勝手のよいCD-ROMの有無を確認。ほかには冊子体などを利用。
図表や写真などを探すには？	オンラインデータベースなどで日付を特定し、本紙、縮刷版、マイクロフィルムなどを利用。CD-ROMでは未収録が多い。
地方関係の記事を探すには？	地方紙やマイクロフィルムを利用。全国紙は本紙以外のメディアでは地方面を収録しないので注意が必要。
複数新聞の記事を探すには？	横断検索できるオンラインデータベースを利用。

図表 5-2 目的別利用ツール

コラム 新聞の速報性

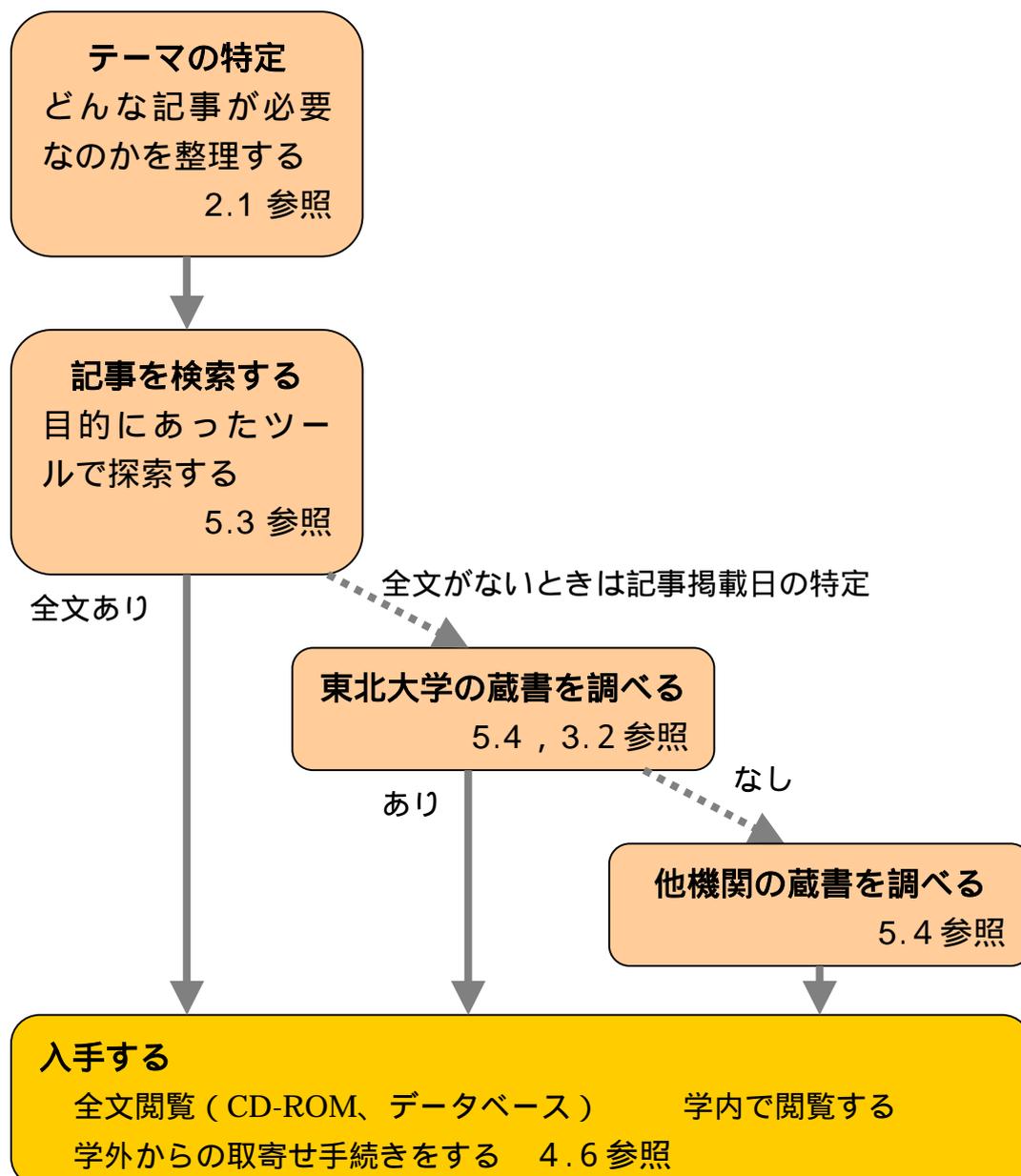
ある出来事がおきた場合、その情報をいち早く、広く報道するメディアはテレビかラジオです。そしてその情報を印刷物として記録し、版するのが新聞です。その後、情報は時間の流れとともに「新聞」「雑誌記事」「図書」の順番で印刷物として記録され、後世に参照できる形式で保存されていきます。

しかしこのような慣習も、ウェブの普及と情報環境の変化により、現在は変貌してきています。事件などの情報は、新聞よりも、場合によってはテレビやラジオよりも早くウェブサイトが報道しています。そしてその情報は後日も検索可能なうえ、新聞のような休刊日もありません。

情報環境が変わりつつある現在、情報を利用する側は、その目的や状況に応じてメディアを使い分けていく柔軟性が必要となってきました。

5.2 新聞記事入手までの概要

新聞記事を手に入れるにはまず、記事が掲載された日付を特定する必要があります。それから所蔵を調査し、利用の手続をします。ただし CD-ROM やデータベースなど、検索結果からそのまま全文を閲覧できるツールもありますので、入手手順は一樣ではないことに注意してください。また、本紙についてはオンライン目録で検索できない場合もありますので、カウンターでお尋ねください。以下は基本的な入手手順の流れ図です。



図表 5-3 新聞記事入手の基本的な手順

5.3 本学で利用できる主な新聞記事検索ツール

ここでは本学で利用できる検索ツールとして、CD-ROM、オンラインデータベース、無料ウェブサイト、冊子体ツールなどのうち、主なものを紹介していきます。

5.3.1 CD-ROM

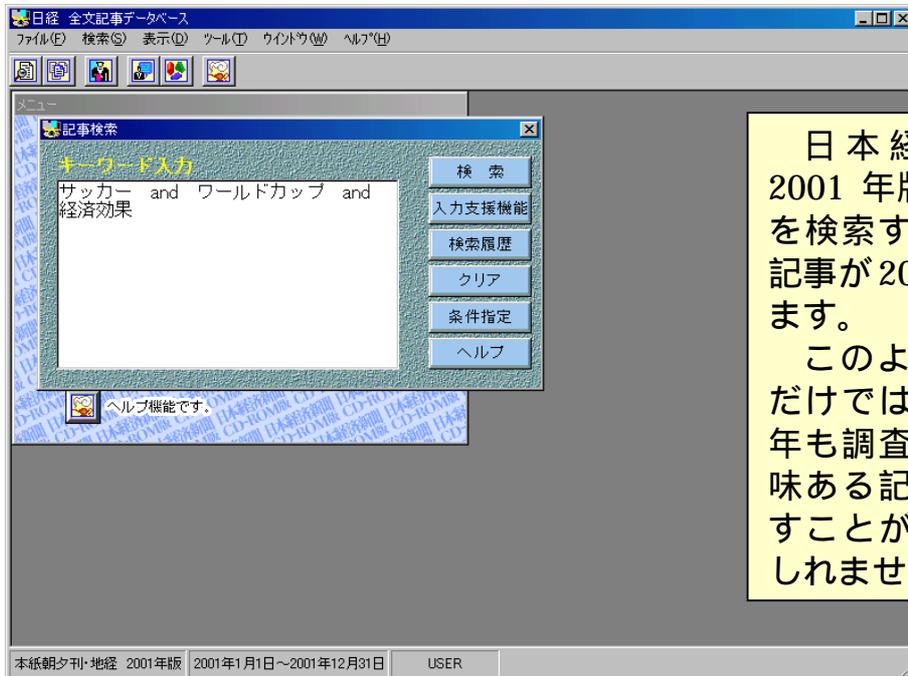
- 『CD-HIASK：朝日新聞記事データベース』 朝日新聞社 1985～：本館 RC
朝日新聞の記事本文を収録し、1年分がCD-ROM1枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。
- 『戦後50年朝日新聞見出しデータベース』 朝日新聞社 1945～1995：本館 RC
朝日新聞縮刷版の巻頭記事索引をデータベース化したものです。本文は収録していません。
- 『日経全文記事データベース』 日本経済新聞社 1990～：本館 RC
日本経済新聞の記事本文を収録し、1年分がCD-ROM1枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。
- 『明治の讀賣新聞』 読売新聞社：本館 RC
本紙をそのまま画像データベースとしているので、図表なども閲覧可能となっています。同様に『大正の讀賣新聞』も本館 RC で所蔵しています。

5.3.2 オンラインデータベース

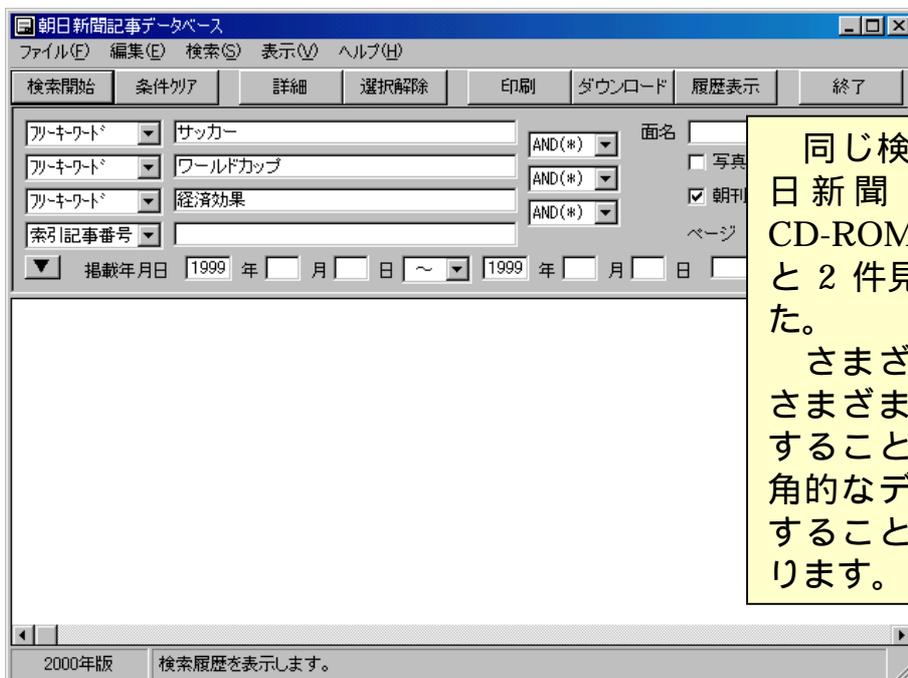
- 『日経テレコン21』 日本経済新聞社
(<http://telecom21.nikkeidb.or.jp/home/>) 有料：本館 RC
全国紙・地方紙を含め、多数の新聞を横断検索できます。収録年はそれぞれ異なります。例えば日経新聞は、1975年以降の全文検索が可能です。

例題 2002年サッカー・ワールドカップ大会の経済効果について、その予測と結果の記事を探す。

回答例



図表 5-4 『日経全文記事データベース』検索画面



図表 5-5 『CD-HIASK』検索画面

5.3.3 無料ウェブサイト

新聞記事を検索できるウェブサイトを利用する場合は、検索対象がウェブ版の記事なのか、あるいは本紙印刷版の記事なのかを確認してください。これらは別物ですので、区別して利用する必要があります。もしウェブサイトで探し出した記事の本紙で閲覧したいときは、掲載日付を確認しましょう。

(1) 国内

- 『日経 goo』
(<http://nikkei.goo.ne.jp/>)
日経 4 紙過去 1 年間の印刷版記事が検索可能です。本文は有料ですが、見出しまでは無料です。

- 『毎日新聞』
(<http://www.mainichi.co.jp/>)
過去 2 年間のウェブ版記事が無料検索可能です。

もし、調べたい新聞記事がごく最近のものである場合は、各新聞社のウェブサイトよりもサーチエンジン(ポータルサイト)のニュースページが便利です。そこでは、多くの新聞社や通信社のウェブ配信記事をカテゴリーごとに通覧できます。

- 『Yahoo! JAPAN ニュース』
(<http://headlines.yahoo.co.jp/>)

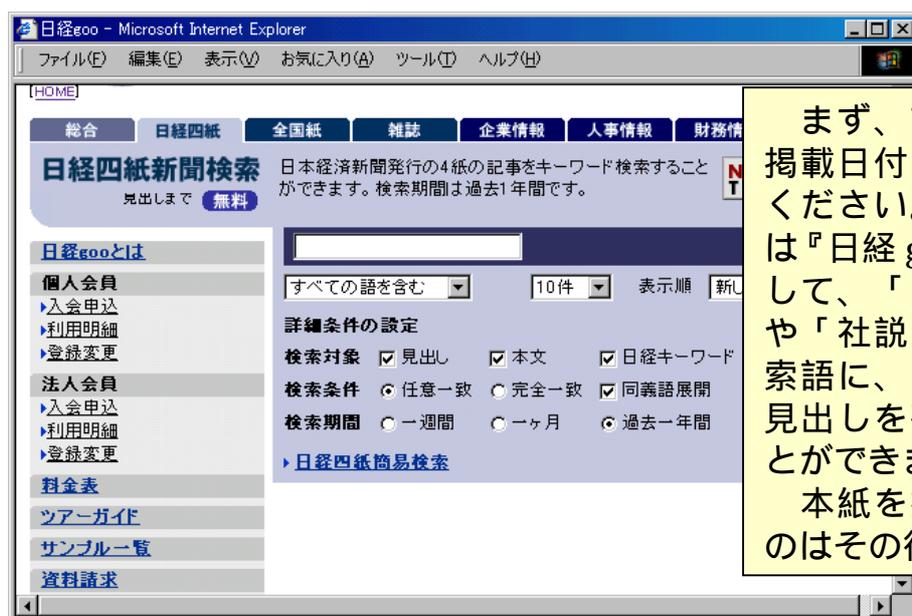
- 『goo ニュース』
(<http://channel.goo.ne.jp/news/>)

- 『excite ニュース』
(<http://www.excite.co.jp/News/>)
過去一週間、34 社の記事が横断検索可能です。

(2) 海外

- 『Dialog Select Open Access』
(<http://openaccess.dialog.com/business/>)
アメリカ全国紙の記事が一括検索可能です。見出しまでは無料ですが、本文は有料です。
- 『New York Times』
(<http://query.nytimes.com/search/advanced/>)
創刊年からの検索は有料ですが、1996年以降の検索は無料です。本館書庫には、本紙マイクロフィルムの索引(1851～1982)も所蔵しています。
- 『Washington Post』
(<http://www.washingtonpost.com/wp-adv/archives/>)
1977年以降の記事検索が可能です。

例題 ノーベル賞を受賞した田中耕一さんについて、過去1年間に日本経済新聞に掲載された社説を探す。

回答例

図表 5-6 『日経 goo』

5.3.4 冊子体

データベースなどで手軽に検索できない年代の新聞は、冊子体の検索ツールを利用することになります。また、冊子を通覧する方法は、データベースで検索語で探す方法に比べ、思いがけない関連記事を見つけだす可能性もあります。ぜひ一度手に取ってみてください。

- 『朝日新聞記事総覧』 大正前期編，大正編，昭和編，平成編 1985～1999：本館 RC
朝日新聞（東京）縮刷版巻頭の記事索引を集成したものです。同様に、朝・夕刊最終版に掲載された記事の索引として、毎日新聞社の『毎日ニュース事典』（1973～1980）や、読売新聞社の『読売ニュース総覧』（1980～1994）などがあります。それぞれ、事項や人名などさまざまな索引で検索することができます。
- 『明治ニュース事典』 明治ニュース事典編纂委員会，毎日コミュニケーションズ出版部編集制作 1983～1986：本館 RC
当時の主な新聞などから記事を採録したものです。事項別、分類別、年次別の索引があります。同様に『大正ニュース事典』、『昭和ニュース事典』も所蔵しています。
- 『新聞集成明治編年史』 中山泰昌編著；新聞集成明治編年史編纂會編纂 1934～1936：本館書庫 [I11A3-11/メ1]
当時の主要な新聞記事を集めた集成版です。同様な資料として、加藤秀俊ほか編の『新聞集録大正史』や、入江徳郎ほか編の『新聞集成昭和史の証言』なども、本館で所蔵しています。

コラム 最終版とは？

毎日5千万部以上も出版される全国紙は、印刷途中で記事差し替えが起こる場合があります。そのため、同一出版日でも地域により記事内容が異なる場合があります（新聞本紙の上部に、第何版かが表示されています）。検索ツールの収録記事は、原則として最終版を基にしています。

例題 明治45年(1912)大西洋で沈没したタイタニック号の日本人乗船者名と、生還後のインタビュー記事を探す。

回答例

大蘇芳年 (たいそよしとし, 月岡米次郎)
 ① 541d, ② 55d, ③ 366a, 595c, ④ 404a
 大隊営所 ① 329d
 大隊区司令部条例 ④ 789c
 大陸排斥同盟 ⑥ 85d
 タイタニック号 ⑩ 6c
 タイタニック号生存者の顛末書 ⑩ 419
 タイタニック号沈没 ⑩ 418d
 タイタニック号沈没の顛末 ⑩ 420a
 第一銀行券流通禁止 ⑦ 267d

『明治ニュース事典』および『新聞集成明治編年史』の索引を「タイタニック」で検索すると、日本人乗船者名は判明しましたが、インタビュー記事は見つかりません。

図表 5-7 『明治ニュース事典』事項別索引

検索画面 M00 1874(明治7)年11月~1912(明治45)年7月

辞書検索 ヘルプ

キーワード入力

前方一致 後方一致 タイタニック AND
 前方一致 後方一致 AND
 前方一致 後方一致 AND
 前方一致 後方一致 AND

掲載日指定

明治 年/月/日 07/11/02 ~ 年/月/日 45/07/31 検索

発行形態

全体 朝刊 付録 号外

ページ

0 ページ

分類

全体 政治 経済 国際
 社会 事件・事故 文化 科学
 生活 スポーツ 皇室

全項目クリア 数値項目クリア 絞り込み解除 検索結果再表示 終了

『明治の読売新聞』CD-ROMを検索すると、写真とともにインタビュー記事が見つかります。このように複数のメディアでの探索を心がけてください。

図表 5-8 『明治の読売新聞』検索画面

5.4 新聞の所蔵検索

新聞の所蔵を探す手順は、基本的に3章の図書・雑誌の探し方と同様です。まず、学内外のオンライン目録で探してください。新聞の場合は、オンライン目録で所蔵を確認できない場合が多いので、冊子体ツールなどの調査も必ず必要です。また、最新の新聞本紙の所蔵については、冊子体ツールでも確認できないので、図書館カウンターに問い合わせてください。

- 『全国新聞総合目録データベース』 国立国会図書館
(<http://sinbun.ndl.go.jp/>)
国内の公共図書館、大学図書館、地方公共団体などの所蔵を確認できます。マイクロフィッシュや縮刷版、復刻版、電子資料まで収録しています。そのほか、同様の冊子体ツールである『全国複製新聞所蔵一覧』を本館 RC で所蔵しています。
- 『東北地区大学図書館所蔵新聞目録』 第2版 東北地区大学図書館協議会編 1987：本館 RC
- 『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』 東京大学法学部明治新聞雑誌文庫編 東京大学出版会 1977：本館書庫 [UP15/024]

例題 昭和31年の「河北新報」所蔵館を探す。

回答例

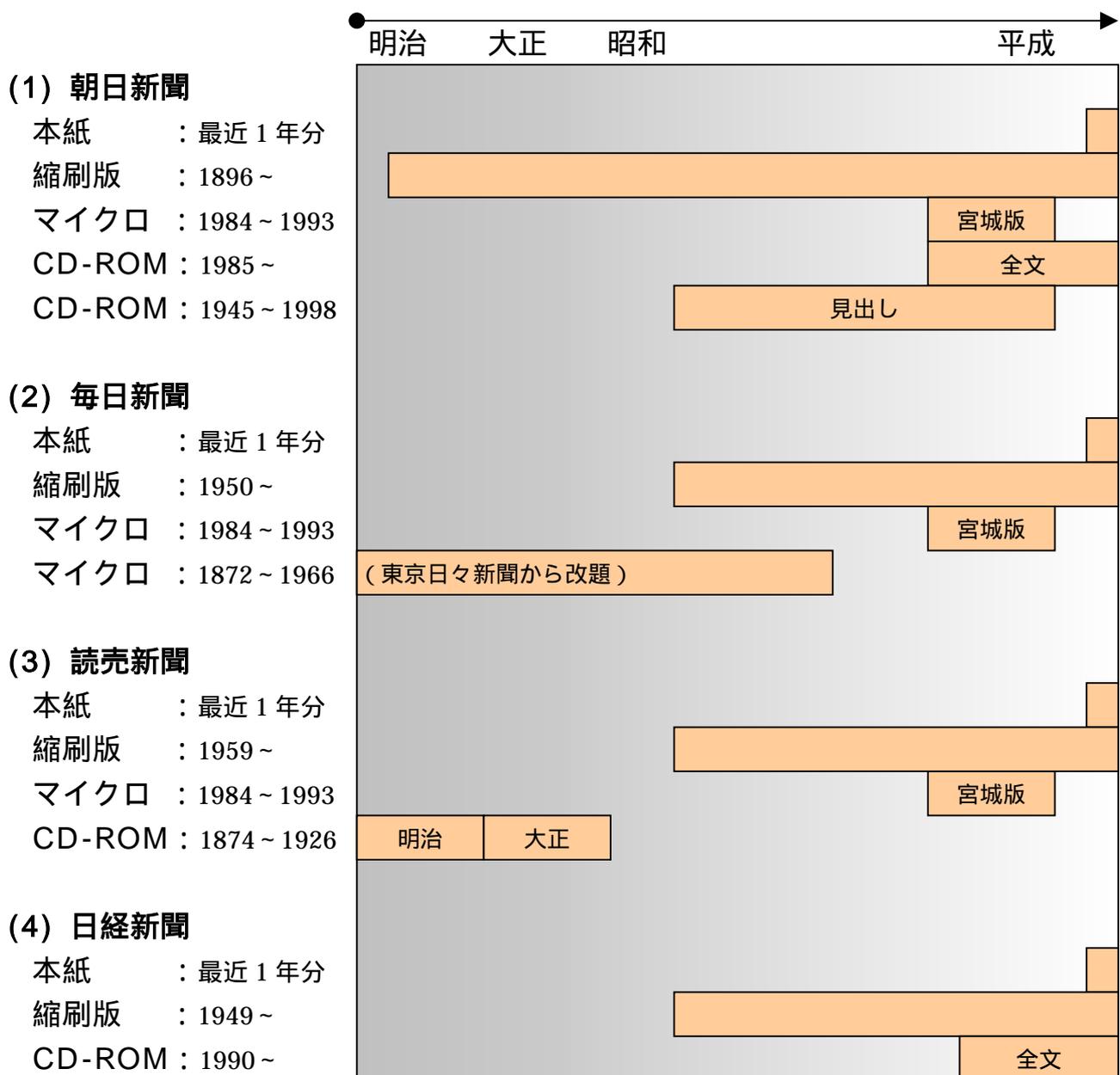
河北新報	仙台	河北新報社
明30.1	創刊	
所蔵	青森県立図書館	
		P 昭61.1~
	河北新報社	
		N 明30.4~昭19.12
		(欠あり)
		昭28.9~昭47.8
		P 明30.1~昭62.6
		(欠あり)
所蔵	東北大学附属図書館	
		昭31.1~平3.12
		(欠 昭33.12, 昭38.8)
計画		平4.1~

『Online Catalog』で検索しても該当年のものはヒットしません。しかし、『全国複製新聞所蔵一覧』で調べると、東北大でも所蔵していることがわかります。

図表 5-9 『全国複製新聞所蔵一覧』抜粋

5.5 本館所蔵紙の対照表

以下の表は、本館所蔵の国内主要4紙を例とした年代別対照表です。収録メディアにより所蔵年が異なることがわかります。また、収録メディアによっては欠号もありますし、復刻版が出版されているケースもありますので、この表はあくまで目安とってください。正確な所蔵年については、オンライン目録で検索するかまたはカウンターに問い合わせてください。



図表 5-10 収録メディア別所蔵一覧

5.6 新聞の出版情報

新聞にはさまざまな種類があるということを、ここまで説明してきました。ここでは、実際どのような新聞が出版されているのか調べるツールを紹介します。

- 『雑誌新聞総かたろぐ』 メディア・リサーチ・センター 1979～：本館 RC ・ 1997～：工分 ほか
22,000 点以上の国内雑誌・新聞などを収録しており、タイトル、分野、発行所などの索引があります。毎年最新版が発行しています。
- 『日本新聞雑誌便覧』 日本新聞雑誌調査会 1965～：本館 RC ほか
新聞雑誌関係の出版社などを分野ごとにわけ、各社ごとのタイトル説明などを掲載しています。
- 『世界 CD-ROM 総覧』 ペンローグ 日外アソシエーツ 1989～2001：本館 RC
日本および海外の CD-ROM を分野ごとに収録しています。
- 『Ulrich 's Periodicals Directory』 Bowker：本館 RC ・ 医分 ・ 工分 ほか
世界各国の雑誌・新聞などを収録しており、タイトルやテーマなどから索引をひくことができます。

コラム 情報の信頼性

新聞の特徴の一つとして速報性があります。これは、早く出来事を伝えるという効力があるのと同時に、その裏返しとして、事実関係の裏付けが正確ではない場合もありうるという側面も持っています。そのようなことがよくあるため、一つの新聞記事だけでは信頼性が足りないといえます。

事実調査として新聞情報を活用するときは、複数の新聞記事で情報を確認し、事実が起きた数日後の紙面も参照する必要があります。また、新聞以外のメディアによる記事も併せて調査してください。可能なかぎり多様な角度から調べることで、情報を検証することが大切です。